

トッパンの 愛児絵本

五大特長

1. 就学前の幼児を、前期（1〜3才）後期（4〜6才）の二期に分けて、それぞれに適切な編集
2. 新感覚の動きのある絵、前期はバックを単純化、後期は構成的な要素を折込む。
3. 大きくよみやすいネーム、前期は歌う調子、後期は読む調子。
4. 内容は、どうぶつ、のりもの、知識ものの基本的なものを主体とする。
5. 美しい印刷と堅牢な造本。

どうぶつ



4. 内容は、どうぶつ、のりもの、知識ものの基本的なものを主体とする。

かずのえほん



3. 内容は、のりもの、* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *

東京日本橋茅場町一の二〇

トッパン

幼年期の意味

ジョン・フィスク著 小川正通訳
新書版八四頁定価八〇円 一六円
進化論の立場から幼年期の重要性
を鋭く衝く名著

日本の幼児教育

その問題点をめぐりて

長田 新・山下俊郎・莊司雅子著
新書版一八四頁 定価三〇円 一六円
日本の幼児教育の問題点をえぐり
だした鼎談

東京都千代田区神田小川町二ノ五 株式会社
振替東京一九六四〇 電話 29 七六五

フレール館